

「この人 93」

中井 勇 71歳 愛媛県

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

中 井 六年くらい前でしょうか。知人に誘われて俳句を始めました。もともと読書が好きで、その影響もあったと思います。滑稽俳句協会に入会して、自分の作品が活字になることに魅力を感じています。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

中 井 肩の凝らない面白味があり、人を楽しくさせてくれることですね。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

中 井 くすりと笑いを誘う力、言葉のもつ笑いの魅力です。

「この人 93」

中井 勇 71歳 愛媛県

編集部 滑稽俳句を続けていて良かった事は？

中 井 脳に刺激を与え、認知症を防止してくれるのではないかと思います。また、俳句を作ることが、自分の思いを記録することにもなり、思い出づくりにもなります。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

中 井 うーん、解りかねます…。今は、俳句を作ってみたら、たまたま滑稽俳句になっていたというのが現状ですから。

「この人 93」

中井 勇 71歳 愛媛県

【代表句】

青時雨帽子の上でリズムとる

梅雨晴間今日も一本忘れ傘

旅人と日傘かざして足湯かな

夏帽子チリンと鳴らしお先です

寒椿一輪咲いてひと休み